

印件のみにて失礼致します。

「小粒でもびりり」からい「あるいは「一度見て、そのあともう一度ふり返りたくするような家」を私は目指したい、と守平君に言つてきました。

結果的に、その目標とはほぼ同じ形を完成までこぎつくり、こゝかできました。

私は勿論ひるん市女も大変よろえとあり、ホッとしてました。

その経過の中、急な変更も発生し、守平君の苦勞も大変だったと察しますが、よく私の考えにのつてましくくれたし、なる程と感心する。ドバイスも頂き、より納得のいくものとなりました。

守平君には感謝の一言に尽きます。

十月下旬の着工まで、毎週のように打合せを重ね、知恵や工夫も出てまいりました。結果的に対話を積う

重ねたのか、よかったです。よろこびます。

当初、ハウスメーカーに依頼する考えで、資料も各社から取り寄せておりました。

しかしある時、早の推進可能な環境を整え供給システムを知り、二、三の地元工務店に出向き、話を聞きました。

この中を、戸建に裏うちされた信頼性、と親子で頑張っている貴社にかけをみようと決めたことが、結果として向違ひではなかつたと思っております。

まずは、美家のある羽鳥から、私の兄弟がみんなとして御挨拶をさせていただくをしております。

大いに自慢したいと思っております。

本番です。直接お伺いして、お礼を申し上げるところでございます。書面にて失礼させて致します。

貴社のお付き合いは、これからも続きます。今後共々、一歩お礼申し上げます。

五月二十九日